

上越の雪ブランディング委員会事業計画

委員長 立入真太郎

副委員長 岡庭 健吾

副委員長 佐々木 潤

運営幹事 井澤 翼

会計幹事 片 藍子

【基本方針】

私たちが住む上越市は世界でも有数の豪雪地帯であり、雪を克服してきた歴史があります。しかし、地方創生が謳われる今、雪を克服ではなく利活用し資源に変えることが求められています。国を挙げてのインバウンドの推進、北陸新幹線の開通、新水族館の建設など上越の観光を取り巻く市内外の環境は大きな変革期にあります。雪を独特な発想で既存の観光資源と組み合わせる事により私たちのまち、上越をPRする絶好の機会と捉えます。

当委員会では、雪を地域資源と捉え利活用する『利雪』を提唱し、観光との融合をはかり観光資源としての価値を高めながら市内外の交流を促進させ、利雪による新たな観光の在り方を見出します。春には、様々な地域の観光者が多く来越する花見の時期に利雪の技術を活かし、上越の桜の魅力をもっと向上させる運動を実験的に展開します。短い桜の開花期間を利雪の技術で延ばすことにより、観光産業を活性化すると同時に利雪のPRにつなげます。そして、利雪の技術を市内外のイベントなどに活用し、商業的に発展できるかを検証します。次に夏の観光客が毎年減少している問題をとらえ、直江津の海岸付近で行政と民間を巻き込んで「利雪」を体験・体感できる事業を行います。翌年には新水族館が開業するにあたって海の魅力と雪の魅力を融合させることにより、観光客の増加を図ります。通年で観光に焦点を当てて利雪し、成功例を創出することで市民の利雪に対する関心を高め、雪の地域資源としての価値を向上させます。その結果、地域ならではの新しい共生が実現し、幅広い業種において様々な可能性を見出し、新たな産業の創出を目指します。

雪は昔からある固有の資源であり、恩恵をなくして発展し得なかったこの地域の宝です。雪国だからこそ使える権利を有効活用し、地域固有の資源として観光と融合させ、観光産業を育むことにより可能性が広がり、地域経済が活性した明るい豊かな社会が実現します。

【委員会職務分掌】

1. 会員拡大および賛助会員拡大の推進
2. 上越オクトーバーフェスト2017 IN 蓮まつりの参画
3. 雪月花プロジェクトの実施と報告
4. 利雪の街を醸成する事業の実施と報告
5. 米沢 J C との交流事業の実施
6. 上越市長選の公開討論会の実施と報告